公開用

基本情報技術者試験（FE）

修了認定に係る試験問題審査の概要について

令和６年６月

独立行政法人情報処理推進機構（IPA）

Copyright © 2024 Information-technology Promotion Agency, Japan（IPA）

＊本資料は，修了試験の問題審査に適用します。

本資料は，基本情報技術者試験の科目 A 免除制度に関し，認定講座における修了認定にかかる試験問題の審査の概要について説明するものです。

問題審査の詳細については，申請者と当機構間で秘密保持契約を締結後に，当機構が申請者に提供する「試験問題審査申請要領」をご参照ください。

Copyright © 2024 Information-technology Promotion Agency, Japan（IPA）

１. 問題審査の対象

基本情報技術者試験（以下，FE という）の科目 A 試験の免除制度のうち，全ての受講項目を講座のみで受講する講座又は一部の受講項目の受講を民間資格試験の取得に置き換える講座において，申請者が修了試験問題を作成し，その問題を使って修了試験を実施する場合を対象とします。

２. 問題審査の概要

問題審査を受けるに当たっては，申請者と当機構（以下，IPA という）間で秘密保持契約を締結した上で，問題審査に必要な書類の提出を求めます。

問題審査は，問題作成の専門家として情報処理技術者試験の問題作成を担当する試験委員が行います。審査工程には，予備審査工程，本審査工程があります。審査内容は，問題数，分野，問題の適切度，問題セットの出題範囲等を確認し，基本情報技術者試験の出題との同等性を総合的に判断します。

３. 予備審査工程と本審査工程

審査工程には，予備審査工程と本審査工程の二つの工程があります。

(1)　予備審査工程

予備審査工程では，民間資格試験問題，修了試験問題について，それぞれの試験の品質を把握することを主な目的としています。審査する問題数は，本審査を受ける予定の民間資格試験問題と修了試験問題の合計問題数の 20%程度（最大 50 問を目安）です。審査する問題は，各分野からバランスよく 1 問～10 問を選択して構成します。

(2)　本審査工程

本審査工程では，審査基準に基づいて問題数（出題数），解答の選択肢数，難易度，大分類，中分類の出題数，同一問題の有無を確認するとともに，難易度，問題の正確さ・精度，問題の適切度，問題の品質等の観点も加え，基本情報技術者試験の出題との同等性を総合的に判断し，合否を決定します。

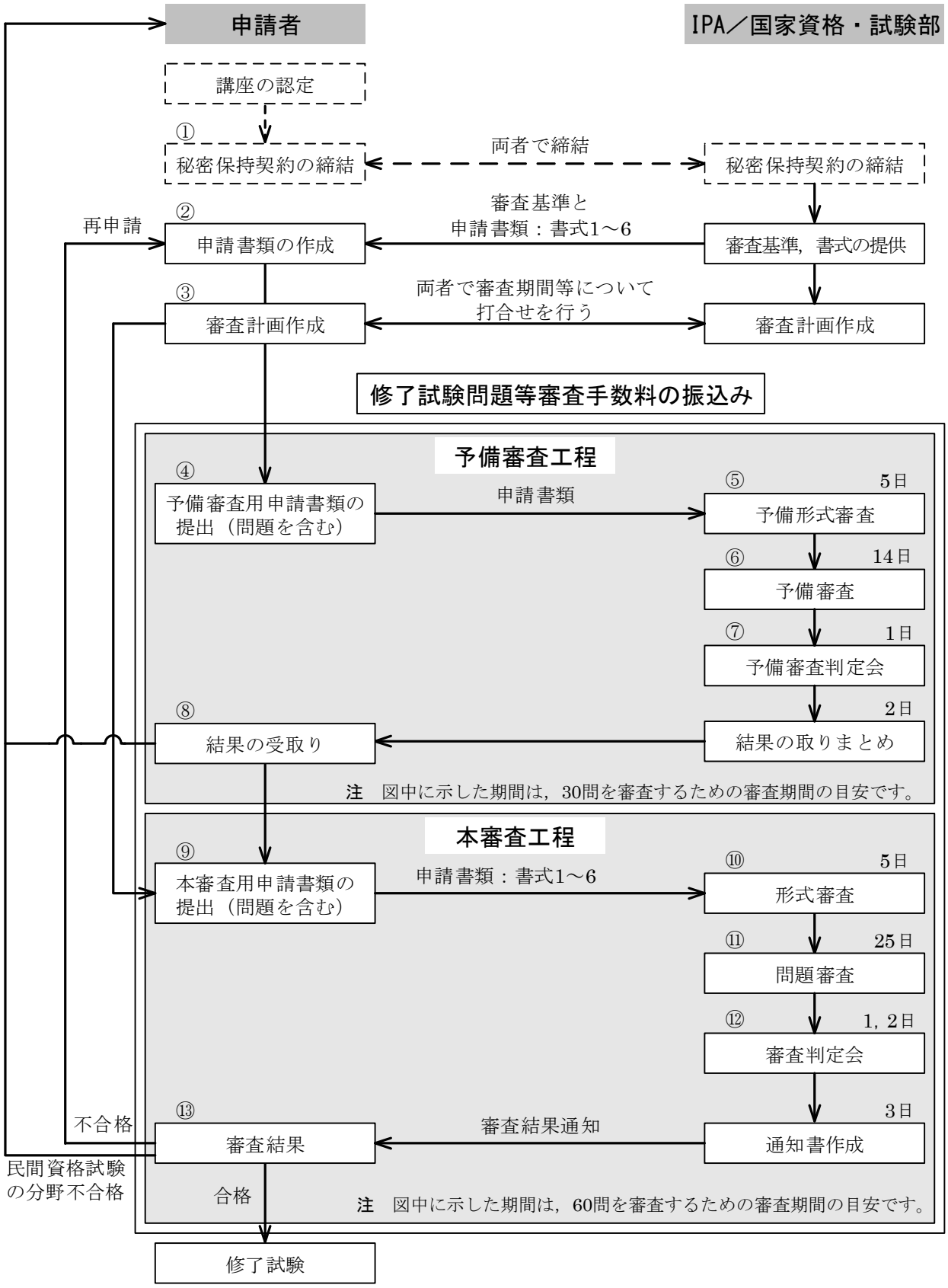
４. 問題審査の流れ

問題審査の流れを「図　問題審査の流れ」に示します。問題審査の流れを図中の項番に沿って説明します。

説明の中で使用する用語については，巻末資料の「用語の説明」を参照してください。

Copyright © 2024 Information-technology Promotion Agency, Japan（IPA）

■ 問題審査の流れ



Copyright © 2024 Information-technology Promotion Agency, Japan（IPA）

① 秘密保持契約の締結

問題審査では，利用する民間資格試験の試験形式，試験方法等のうち，外部に公表していない機密事項に関する情報や出題前の修了試験問題の提供を求めます。IPA では，知り得た秘密を第三者に漏らすことは一切ありませんが，安全に配慮し，審査工程に入る前に申請者と IPA 間で秘密保持契約を締結します。

② 申請書類の作成

申請者と IPA 間で秘密保持契約を締結後，審査基準，書式の提供を行います。申請者は，提供された審査基準，書式に沿って申請書類を作成します。

③ 審査計画作成

申請者と IPA 間で審査日程について協議を行い，審査計画を策定します。審査計画の中には，問題審査が不合格になった場合等の対処方針も盛り込み，双方の合意を得た上で審査の工程に入ります。

＊予備審査工程に入る前に，予備審査に提出する問題数×手数料（3 万円）を納付。

＜予備審査工程＞

④ 予備審査用申請書類の提出

申請者は，提供された審査基準，書式に沿って申請書類を作成します。

⑤ 予備形式審査

IPA に提出された申請書類等の記載内容が，審査基準に適合しているかどうかを確認します。

⑥ 予備審査

提出された個々の問題について，問題の品質や審査基準と適合しているかどうかを，試験委員が個別に作業を行い，確認します。

⑦ 予備審査判定会

試験委員が個別に作業を行った結果を持ち寄り，提出された個々の問題の品質について確認します。

⑧ 結果の受取り

予備審査判定会での確認結果を申請者に書面で通知します。

＊本審査工程に入る前に，予備審査で納めた問題数を除いた残りの問題数×手数料（3 万円）を納付。

＜本審査工程＞

⑨ 本審査用申請書類の提出

申請者は，提供された審査基準，書式に沿って申請書類を作成します。

⑩ 形式審査

IPA に提出された申請書類等の記載内容が，審査基準に適合しているかどうかを確認します。

⑪ 問題審査

提出された個々の問題について，問題の品質や審査基準と適合しているかどうか，問題セットとして審査基準と適合しているかどうかを，試験委員が個別に作業を行い，確

Copyright © 2024 Information-technology Promotion Agency, Japan（IPA）

認します。

⑫　**審査判定会**

試験委員が個別に作業を行った結果を持ち寄り，提出された個々の問題の品質，問題セットとして基本情報技術者試験との同等性を総合的に判断し，合否を決定します。

⑬　**審査結果**

審査結果は，IPA から申請者に書面で通知します。不合格の場合は，事前に提示した審査項目のどの箇所が合致しなかったのか，理由を付して通知します。

５. 審査項目

審査項目を表に示します。審査基準など詳細は，秘密保持契約を締結した上で，申請者に提示します。

表　審査項目

審査項目		審査内容
問題数（出題数）		問題セットの問題数（出題数）が審査基準を満たしているか。
解答群の選択肢数		選択肢の数が審査基準を満たしているか。
難易度		問題セットの難易度が審査基準を満たしているか。
大分類，中分類の出題数		問題セットの大分類，中分類ごとの出題数が審査基準を満たしているか。 当該問題の申請した分野が適切でない場合，変更することがある。
同一問題	民間資格試験間	（一斉試験） 問題再利用の間隔が審査基準を満たしているか。 （CBT） アイテムバンクの問題数と再受験規程が審査基準を満たしているか。
	修了試験間	（一斉試験） 問題再利用の間隔が審査基準を満たしているか。 （CBT） 修了試験問題の中に同一問題がないか。 アイテムバンクの問題数が審査基準を満たしているか。
アイテムバンクの更新（CBT）		アイテムバンクの更新内容が審査基準を満たしているか。
サンプル問題セットの妥当性（CBT）		サンプル問題セットが審査基準を満たしているか。

６. 問題審査申請の申込み

詳しくは，IPA 講座担当者までお問い合わせください。

電子メールアドレス：jitec-kouza@ipa.go.jp

URL：https://www.ipa.go.jp/shiken/about/menjo-fe.html

Copyright © 2024 Information-technology Promotion Agency, Japan（IPA）

巻末資料

■ 用語の説明

本文中で使用する用語について説明します。

① 一斉試験（紙試験又はオンライン試験）

紙又はインターネットを利用し，同じ試験問題により同日同時刻に一斉に行う試験の実施形態を指します。一斉試験のうち，試験会場で紙の試験問題を配布し，答案用紙に解答する形式のものを「紙試験」，インターネットを利用し，自宅，職場等においてコンピュータ上に問題を表示し，解答する形式のものを「オンライン試験」と言います。

② CBT

テストセンターにおいて，コンピュータ上に，アイテムバンク（出題予定の試験問題を蓄積するデータベース）から一定の法則に沿って選出された問題を表示し，解答する試験の実施形態を指します。

③ 問題セット

問題セットとは，民間資格試験問題（試験に使用した実際の問題）と申請者が作成した修了試験問題（修了試験に使用する問題）を合わせたものです。

④難易度

難易度とは，情報処理技術者試験で出題されている問題を，正答率によって五つのランクに分類したものです。

⑤ 大分類，中分類

大分類，中分類とは，基本情報技術者試験の科目 A の出題範囲の分類を指します。

Copyright © 2024 Information-technology Promotion Agency, Japan（IPA）

基本情報技術者試験（FE）
修了認定に係る試験問題審査の概要について　公開用

発行日　2024 年 6 月
発　行　独立行政法人情報処理推進機構
〒113-8663　東京都文京区本駒込 2-28-8
文京グリーンコート　センターオフィス 15 階

Copyright © 2024 Information-technology Promotion Agency, Japan（IPA）